

## 竹生島植林復元に係る採取・育苗

### ■背景

琵琶湖八景の1つに数えられる『竹生島』で、異常繁殖した水鳥のカワウの影響により①タブノキなどの立ち枯れ、②営巣のため枝が折られ、③大量のフンによる土壌の富栄養化等により土砂崩れの危険性が高まっていた。このため、「淡海の自然を蘇らせる事業」の一環により、島に自生するタブノキ、スダジイ、クスノキの種子を採取・育苗することとなった。

### ■発注先

滋賀県長浜市(旧びわ町)

### ■事業期間

平成8年6月～平成13年3月

### ■状況写真



写真-1 竹生島の立ち枯れ



写真-2 タブノキ種子(約1万2千個)



写真-3 タブノキ苗(2年生苗木)



写真-4 タブノキ苗(3年生苗木)